

久留米でDXに取り組む企業を紹介

働き方改革やインボイス導入等の相次ぐ制度改正への対応をはじめ、人手不足解消や生産性向上、事業の円滑な承継などに向け、業務効率化につながるデジタル技術の

活用は、企業にとって必要な取り組みです。市内企業のDXの取り組みを紹介します。



久留米大学生が社長に聞く！

久留米大学生が、DXに取り組む企業の社長に取材しました。取り組みにあたっての考えなど、参考になる話を聞いて学生が感じたことは…。

● 株式会社カラーリングファーム (受注製造出荷までの管理のデジタル化)

ラディッシュをメインに生産。販売先が増え、受注、製造、出荷までの管理システムを導入。将来はIT技術者を育成し、システムの自社開発を行っていききたいとのことです。



市公式動画はこちら



● 安全タクシーグループ (遠隔IT点呼、配車業務の受託など)

市内でタクシー事業所を始め、現在は三重県にもエリアを拡大。遠隔IT点呼や、DXによる他社の配車の受託などの新たな売上創出の話などを聞くことができました。



市公式動画はこちら



☎ 商工政策課 ☎ 0942-30-9133 ☎ 0942-30-9707 ✉ syoko@city.kurume.lg.jp

お知らせ

不妊治療と仕事を両立

働きながら治療を受ける従業員への理解を

● 不妊治療は増加傾向

近年、不妊検査や治療を受ける夫婦は4.4組に1組、不妊治療(生殖補助医療等)で誕生する子どもは13.9人に1人となるなど、不妊治療を受ける人は増加傾向にあります。

不妊治療は、どの治療においても頻繁かつ排卵周期に合わせた通院が必要で、あらかじめ通院日を決めることが難しい上、身体的・精神的にも大きな負担を伴います。

● 不妊治療のため16%の人が離職

治療をしている人の35%が仕事と治療の両立ができず、雇用形態を変更したり治療をやめたりしています。また、

16%の人が両立できず離職しています。社員が不妊治療をしながら働き続けやすい職場づくりを行うことは、安定した労働力の確保、社員の安心感やモチベーションの向上、新たな人材を引き付けることなどに繋がります。

企業には、不妊治療を受けながら安心して働き続けられる職場環境の整備が求められています。

※不妊治療と仕事との両立に取り組む企業支援として、「両立支援等助成金(不妊治療両立支援コース)」があります。



☎ こども子育てサポートセンター ☎ 0942-30-9731 ☎ 0942-30-9718 ✉ kokosapo@city.kurume.lg.jp

相談

3月は「自殺対策強化月間」

国は、自殺者が最も多い3月を「自殺対策強化月間」とし、集中的に啓発活動を行っています。互いに支え合う気持ち

を持つことで守れる暮らしと命があります。まずは、ひとりで悩まずあなたのこころの声を聴かせてください。

こころの健康相談

● 保健師・精神保健福祉士による相談(予約不要)

日 時 月～金曜日 8:30～17:15(祝日、年末年始除く)

● 精神科医による相談 **予約制**

日 時 毎週木曜日 13:30～15:00
(祝日、年末年始、お盆、第5週除く)

時間 1人30分程度

共通場所 保健予防課(久留米商工会館4階)



生活・法律・こころの相談会(予約不要)

● 借金問題や労働問題、相続のことなど
司法書士、保健師などによる相談

日 時 3月19日(火) 17:30～20:30

場 所 保健予防課(久留米商工会館4階)



☎ 久留米市保健所保健予防課

☎ 0942-30-9728 ☎ 0942-30-9833

✉ ho-yobou@city.kurume.lg.jp